

セミナー「データ駆動型社会における 北陸地域の未来」

定員
100名
[参加無料]

会場

ホテル金沢

2階「ダイヤモンドB」

金沢市堀川新町1番1号 TEL:076-223-1111

日時

令和2年2月19日(水)

13:30~16:30

一般財団法人北陸産業活性化センターと東京大学地域未来社会連携研究機構は、昨年度連携協定を結び、経済産業省の地域中核企業創出・支援事業「北陸地域における先端ものづくり産業の国際競争力強化事業の創出」を進めてまいりました。今回は、製造業企業におけるIoT・AI導入はもとより、農林水産業や物流、医療、健康、交通分野のスマート化や自治体のオープンデータ化、スマートシティに関して、幅広く活躍されている東京大学情報学環長の越塚 登教授に基調講演をしていただくとともに、地域未来機構と経済産業省からの産業立地分析の最前線と施策展開に関する報告を交えて、データ駆動型社会における北陸地域の未来について、考えたいと思います。

プログラム

開会挨拶

[13:30~13:40]

一般財団法人北陸産業活性化センター 会長 久和 進
東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長 松原 宏

基調講演

[13:40~14:40]

「IoTやAIを活用した地方経済活性化と地域課題の解決」

東京大学大学院情報学環長 越塚 登 氏

【講師プロフィール】

1994年東京大学大学院理学系研究科博士課程 修了。東京工業大学助手、東京大学大学院助教授等を経て2009年より東京大学大学院教授に。専門は計算機科学(Computer Science)。20年以上にわたり、ユビキタスコンピューティング、IoT、オペレーティングシステム、コンピュータネットワークなどの研究に取り組み、近年は場所情報システム、食品・製品のトレーサビリティシステム、スマートシティなど、ICTを用いた社会インフラ運用の高度化に取り組む。



報告

[15:00~16:30]

「データ駆動型社会における市民協働・シビックテックによる地域課題解決」

瀬戸 寿一 (東京大学空間情報科学研究センター特任講師)

「データを活用した地域経済分析と北陸ものづくり産業」

松原 宏 (東京大学大学院総合文化研究科教授・地域未来社会連携研究機構長)

鎌倉 夏来 (東京大学大学院総合文化研究科助教)

「今後の地域経済施策の方向性について」

藤井 法夫 (経済産業省地域経済産業グループ

地域企業高度化推進課 地域政策研究官)

【共催】 東京大学地域未来社会連携研究機構、一般財団法人北陸産業活性化センター

【後援】 北陸経済連合会

【協力】 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

セミナー 「データ駆動型社会における北陸地域の未来」
参加申込書

日 時：令和2年2月19日（水）13:30～16:30

会 場：ホテル金沢 2階「ダイヤモンドB」

参加費：無料

申込方法：必要事項をご記入の上、一般財団法人北陸産業活性化センターまで
FAX（076-264-3900）または E-Mail（sanka@hiac.or.jp）でお申込みください。

申込締切：2月14日（金） ※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

貴社名	
所在地 〒	
TEL	FAX
連絡先 E-mail	

所属・役職	氏名
所属・役職	氏名
所属・役職	氏名

[ホテル金沢]

J R金沢駅東口から徒歩で約1分

※公共交通機関でのご来場をお願いいたします。



※ ご記入いただきました個人情報につきましては、取り扱いに注意するとともに、参加者の確認および講演会等のご案内以外の目的に使用いたしません。

申込・問合せ先：一般財団法人北陸産業活性化センター

TEL：076-264-3001 FAX：076-264-3900 E-mail：sanka@hiac.or.jp